

ドクターに聞きました

認知症

Q 認知症を防ぐ方法はありますか？

認知症は脳が委縮して、新しい事が覚えられない病気です。認知症を防ぐ為には、頭をつかう事、手足をつかう事が1番です。特に指をつかう仕事をされている方は、あまり認知症になりません。

日常生活の中では、テレビを見るより、ラジオを聴く方がいいです。テレビは音も聞こえるし、映像も出てくるから考えなくていいんです。ラジオは音だけです。色んな事をイメージしながら聞いていますから、脳をつかう事になります。新聞、本を読む事も良いです。今はパソコンでもできて便利ですが、字を書くのにも、パソコンよ

り、ご自身の手で書く方がいいですね。

それから最近では、野菜などの食材も、すでに切られている状態でも売られていたり、食材を混ぜるだけのセットもありますが、やはりご自身で包丁を使い、料理をするのが1番です。頭をつかいますし、包丁をつかう事は、とても神経をつかいますからね。便利なものばかりに頼らず、頭、手足をつかってください。

Q 初期には、どんな症状が出ますか？

講演に行くと、翌日に新患で受診される方が結構多くて、話を聞くと、皆さん、物忘れがひどいから認知症じゃないかと心配していらつながら服薬をするという事が、進行を抑えるという点で大事だと思います。

気軽に専門医へ受診を

先程、認知症は新しい事が覚えられないという言い方しましたが、新しい事が覚えられないという事は、新しい環境に慣れるのが大変だという事でもあります。新しい環境というと、1番多いのが、病院に入院するという事です。病院に入院したら、トイレの場所や色ん

しやるんです。物忘れがひどいという事をご自身で分かっていらつしやる方は認知症ではありません。年齢とともに出てくる、誰もがなる、健康な状態です。

同じ事を繰り返し言う時は要注意

認知症の方は、自覚症状がありません。それさつき言ったじゃないっという言葉が、よく家族で交わされると思います。認知症の方の場合は、本人は初めて言っているつもりなんです。同じ事を繰り返し言うという事は、少し認知症が始まった可能性があると言えます。

な事を頭の中に入れていないといけません。入ります。そうすると、認知症が速く進行します。病院に入院したら、認知症がひどくなつたと言われる方がいらつしやいます。が、新しい環境だから、そして対応の仕方が悪いと、そういう風になるんです。環境の変化によって進んだ症状の部分は、かなり改善します。認知症の事をよく分かっている専門のところで診てもらってくださいと思うのですが、精神科に対しての偏見や誤解が、まだまだ強いので

Q 病院ではどんな検査をしますか？

記憶の問題が基本ですから、どれだけ記憶障害があるのかという検査をします。もちろん、もうちょっと精密検査をするとなると、CTスキャンを撮ったりします。しかし意外と、CTスキャンで脳の委縮度をみても、あまり委縮してなくて、あとで追い付いてくるという感じを受ける場合があります。本来であれば、まず脳が委縮して、そのあとに認知症の症状が出てくると、皆さん思いがちなんです。が、意外と後から委縮してきて、どんどんひどくなる事があります。ですから、記憶障害について、どれだけ慎重に質問をするかが重要に

が非常に残念です。偏見をなくして、必要な治療を受けた方が、もっといい人生を送ることができると思います。皆さん是非気軽に、受診してください。

医療法人(財団)小倉蒲生病院



地域に開かれた病院づくりと患者様とご家族の支援を目指します。

所在地

〒802-0978
北九州市小倉南区蒲生5-5-1

アクセス

バス (JR 小倉駅前):1 番のりばから 12 番・45 番バス / 岩鼻バス停下車
モノレール: 守恒・徳力公団前より徒歩 10 分

診療受付

8:30 ~ 16:30 新患全予約制 (月~金)

診療時間

月~金: 午前 9:00 ~ 12:00 午後 13:30 ~ 17:00
土: 午前 9:00 ~ 12:00

休診日

土曜午後・日曜・祝祭日・年末年始

標榜科目

精神科・神経内科



心と身体のつかれを癒すストレスケアセンター。疲れたときに休息する目的での入院も増えています。

お問い合わせ

小倉蒲生病院 TEL 093-961-3238

北九州市委託事業

認知症疾患医療センター

サービス内容

- 専門医療相談
- 認知症の早期発見・早期診断
- 認知症に似た病気や一時的な症状との鑑別診断
- 関係機関との連携
- 認知症の啓発と教育を目的とした研修会の開催

専門医療相談、診療のお問い合わせ

TEL 093-963-6541 (直通)

受付時間 月曜~金曜日 8:30 ~ 17:00

医療法人(財団)小倉蒲生病院
理事長・元参議院議員
西島 英利 先生

昭和 52 年 日本医科大学卒業
昭和 59 年 小倉蒲生病院理事長
平成 10 年 日本医師会常任理事
平成 16 年 参議院議員 (1 期)
平成 26 年 日本医師会総合政策研究機構 非常勤研究員
厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員、中央社会保険医療協議会委員等を歴任